

鳴門市第一中学校

1 学校の概要

- ① 生徒数 720名
- ② めざす生徒像
 - ー よく学び まことを愛す生徒
 - ー 心をみがき 礼儀を正す生徒
 - ー からだを鍛え よく働く生徒

③ 環境目標・テーマ

エコ活動を通して、心を磨く生徒の育成

生徒・教職員が力を合わせ、電気や水の節約、ゴミの分別・減量、プルタブや古紙の回収、ロードアドプト運動などのボランティア活動を通して、環境にやさしい学校づくりに取り組む。



2 行動方針

- ① 学校全体で節電・節水に努める。
- ② ゴミの分別の徹底と減量に努める。
- ③ 委員会活動を通して、リサイクル活動を実践する。
- ④ 環境美化・地域の清掃活動に取り組む。
- ⑤ 環境保全・地域の自然を守る。

3 行動

① ロードアドプト活動

平成24年7月19日(木) 15:15～ 参加者80名

学校近くの国道11号線歩道の草刈りとゴミ拾いを行いました。

今年は部活動単位での参加が多く、総勢80名で行いました。部活動の顧問の先生方も一緒に行いました。



学校横の道路の草刈り



学校近くの道路の草刈り

② ボランティア部による地域の自然を守る活動

- 新池川周辺の桜の木植えでは、新池川周辺に桜の木を植えました。
- 地域のボランティア活動では、小川病院前にナデシコを植えました。
- 地域の清掃活動、花火大会の翌日、早朝から行われた花火大会清掃に参加しました。
- 新池川の清掃活動、新池川付近の芝桜の除草作業を行いました。
- 地域のボランティア活動・新池川植栽いかだを行いました。
- EMだんご作りと新池川への投入とゴミ拾いを行いました。



植栽いかだ作り

③ 生徒会の活動

生徒会による節電・節水の呼びかけと、使用電力・使用水道のグラフの掲示を行った。リサイクル委員会による、プルタブ回収を行った。各学級でゴミの分別と、資源ゴミのリサイクル化に努めた。



掲示版

4 具体的効果

- ◆ ロードアドプト活動では、個人的に参加できる生徒が増えてきた。また、チョコボラ（ちょこっとボランティア）活動に進んで参加できる生徒が増えてきた。
- ◆ 節電・節水については、具体的な活動があまりないにもかかわらず、節電・節水の意識が向上しているためか、数値が前年度と比べて下がっていることが多い。
- ◆ 鳴門市のゴミの分別とリンクして、家庭及び学校でも自然と分別活動ができるようになってきている。
- ◆ リサイクル委員会のプルタブ回収は、車いすを送る活動につなげている。プルタブの回収は毎月の委員会活動で、着実にできている。
- ◆ ボランティア部の活動が地域と連携して行い、着実に成果をあげている。

5 改善点

- ◆ ロードアドプト活動は、参加生徒が増えてきたために、活動が学校横の交通量の多い道路なので、危険な状況が見受けられる。本年度は活動の回数が、年間2回なので活動回数を次回からは増やし、1回の参加人数の制限を行い、安全に継続的に実施できるようにしていきたい。
- ◆ 節電・節水については、毎月の使用量をグラフ化して掲示しているが、現在掲示場所が2カ所である。もう少し生徒たちの目に届くように、掲示場所を多くしていきたい。
- ◆ リサイクル委員会によるプルタブ回収では、具体的目標を示し行っていく。現在のプルタブの重さと、車いす1台いただける重さとの差を示すとともに、回収量のグラフ化なども行い、生徒たちの意欲を高めていきたい。